

なごやぬいぐるみ病院名大祭（土曜日）報告書

文責：畑下直

連絡先：merio-eco.eco.609@softbank.ne.jp

●実施概要

- ・実施日：2012年6月8日
- ・活動場所：名古屋大学東山キャンパス メインストリート
- ・当日参加した学生の人数：22人
- ・子どもの人数：約40人
- ・活動時間：10：00～16：45
- ・活動内容：お医者さん体験（子どもが医師役）、その他（体験コーナー）
- ・当日の流れ（園児の動き、学生の動きが分かるように）

時間	行ったこと
8：45	集合
9：00～	設営
10：00～17：00	実施 (実施の裏で日曜日の実施準備も行った)
17：00～18：00	撤収
18：00～19：30	反省会
20：00～	解散

●準備について

- ・今回の準備に向けて初めてMTGを行った日：

4月18日（名大コアスタッフMTG）

4月25日（土曜日コアスタッフMTG）

*今回は名大祭に2日間、土曜日曜でまったく別の内容で出展したので、コアスタッフも土曜日担当と日曜日担当に分けました。この報告書は土曜日のものになります。日曜日はまた別で報告書があるので、そちらをご覧ください。

土曜日と日曜日で内容は全く違いましたが、準備は同じ会場で行っていました。また、コアスタッフは1～2週間に一回SkypeでMTGを行っていました。

- ・準備に来た学生の人数：1日平均7人
- ・当日までの準備の日程・内容

日程	話し合ったこと、準備したもの
2012/12月	名大祭有志企画に申込み
2013/2月	有志企画担当と打ち合わせ。
2013/3月	幹部で企画概要決定。出店場所、物品補助申請など書類を提出。
3月16日	企画の中心となるコアスタッフ募集開始
4月16日	コアスタッフによる第一回 MTG。 各部門のリーダーが決定。(以下から名大祭土曜日の動きを書きます)
4月23日	土曜日コア(3人)で、第一回土曜日 MTG 開始
5月6日	全体準備
5月7日	コアスタッフ MTG
14日	全体準備
16日	全体準備
21日	コアスタッフ MTG
28日	全体準備
6月1日	全体準備
2日	全体準備
4日	全体準備
5日	全体準備
6日	全体準備
7日	全体準備
8日	本番！！
9日	本番！！

●診察（おいしゃさんごっこ）について

前回からの改善点・工夫した点

- ・よりリアルなものを、ということを中心に心がけ、診断、治療、検査、主訴を先輩のアドバイスや教科書を使いながら関連させた。
- ・フローチャートを一新。子供がより主体的に取り組めるお医者さん体験になった。
- ・検査、治療に新グッズが登場したので、こどもも学生もわくわくしました♪
- ・新入生がいっぱい問診できた。
- ・問診前後でアンケートを実施した→ぬいぐるみ病院の目的が達成できていることをフィードバックじゃなくて、データとして実感できた。
- ・他大さんのアドバイスをいただいた。

今回の実施を受けての反省点と、それに対する改善策

- ・ 3～4歳には難しかったかも
- ・ 白衣が暑かった。
- ・ 問診が大幅パワーアップをしたが、学生が練習できる時間が短く、練習にあまりこれなかった人は患者役ばかりになってしまった。

* 今回の問診は本当にパワーアップしてるので、興味ある方は、問診リーダーの牧野氏に聞いたり、総会にサンプルを持っていく予定なのでそちらを見てみてください♪文章力がなくて、すごさを表現できないのです。

●ぬいぐるみ病院では無い活動

- ・ 活動の名称：体験コーナー
- ・ 内容

包帯の巻き方、臓器模型パズル、聴診器体験コーナーを置いた。包帯の巻き方コーナーでは、足首に包帯を実際に巻いた。この巻き方は、しっかり固定のできる正式な方法で、比較的簡単なものにした。聴診器コーナーは、聴診器を自由に使って様々な場所の音を聞いた。臓器模型パズルは、段ボールで作った、胃、肺、心臓、肝臓、小腸、大腸、食道といったパーツを正しく配置するパズルであった。このパズルが特に子どもたちには人気であった。

- ・ 前回からの改善点・工夫した点・良かったところ
- ・ 問診よりも自由にこどもとおしゃべりできて作業できる雰囲気がとてもよかった
- ・ パズルは大きいパーツでこどもたちもやりやすかったと思う
- ・ 一つ一つのコーナーが独立していたので、問診の順番待ちもしやすかった。
- ・ コーナーが独立してたので、学生も「このコーナーなら教えられる」など、準備にあまりこれなかった子でも入れるようになっていたのが良かった

・ 今回の実施を受けての反省点と、それに対する改善策

・ どうしてもお医者さん体験のパツと見が派手なので、こどもたちがみんなそちらに流れってしまった。装飾とか頑張って、体験コーナーにももっと人を呼び込める感じにすべきであった。

- ・ テントがなかったなので、金属類（パイプ椅子、聴診器）などが熱くなってしまった

体験コーナーは伊東歌菜ちゃんがリーダーをやってくれました。どのコーナーも細部まで、ほんとにしっかり考えてあって「目的」「狙い」がはっきりしてるのはさすが歌菜ちゃんです！体験コーナーのお話をもっと詳しく聞きたいというかたはぜひ歌菜ちゃんにご連絡ください。

●その他（任意）

今回、問診の前後でアンケートを実施しました。その項目の中に、「病院はどういうところかな？」という質問を入れて、問診の前後で病院への恐怖心に変化が生じるか評価できるアンケートを目指しました。（ここではつくばさんのアンケートを参考にさせていただいて、フェイススケールを用いました）

結果は、結構多くの子が、問診後に病院への恐怖心が減っていました！

どこまで正確に子どもたちの意思を反映したアンケートが作れたかわかりませんが（アンケートの評価がまだちゃんとできてなくて…）、なごやぬいぐるみの目的の一つである「医療に対する恐怖心の軽減」が、活動を通してちゃんと達成できているのだな…と思って感動しました！

また、土曜日屋外、日曜日屋内でやったのは、日曜日の催事の場所が人通りが少ない場所だったから土曜日の人通りの多い日に日曜日の宣伝をしよう！という目的もあったのですが、土曜日来てくれた子で日曜日も来てくれた子が何人かいたので、この点も良かったのかなと思っています。

最大の失敗は、あまりにも暑かったことです(笑)

もっとごねて実行委員からテントをゲットするべきでした。

土曜日の内容に関しては、問診リーダー&体験コーナーリーダーが本当に頑張ってくれたので、すごくすごく良いものになりました!!ありがとうございました。